

# 令和4年度西条市小・中学校 ESD取組

資料1

	学校名	テーマ	ねらい	該当学年
1	西条小	多くの環境問題をかかえる中で、現在の私たちが幸せに暮らすとともに、未来に引き継ぐことができる持続可能な社会をつくるために、私たちはどうすればよいのだろう。	持続可能な社会をつくるために、自分たちの生活の中でできることは何かを考え、実践する。	6年
2	神拝小	戦争や災害、いじめなど「命」が脅かされる事象が地球上に存在する中で、「命」を繋げていくために私たちはどうすればよいのだろう。	平和学習や防災教育等を通して、「命」を繋げていくために自分たちにできることを考え、実践する。	6年
3	大町小	私たちが暮らす西条市の素敵などを見つけて、発信しよう。また、西条市の素敵などを未来に残すために、私たちはどうすればよいか考え、行動しよう。	西条市の素敵などを見出し、発信することで、ふるさとを愛する心を育てる。西条市の素敵などを守るためには、どのようなことに取り組みばいいか考えて実践する。	3年
4	玉津小	「キラキラ ピカピカ みんなとあくしゅ えがおとやるきで じぶんにちようせん」の具現化を通して、人とつながる・社会とつながる・未来につながる子どもたちを育てる。	前年度の総合「ハンセン病問題学習」で学んだことをまとも直し5年生に伝えることで、自分の中にある「差別を絶対に許してはいけない」という思いを再認識し、差別をなくすリーダーを育成する。	6年
5	飯岡小	身の回りにあるエネルギー、水、ゴミ、食料などの問題に関する資料を集め、自分たちにできることを考えて提案しよう。	身の回りにある問題に目を向け、目的や意図に応じて、書くことを選び、集めた材料を分類したり、関係づけたりして伝えたいことを明確にする。	6年
6	神戸小	地域の自然を守るために自分たちにできることを実践しよう。	水をテーマとして探究活動を進めながら、地域の生態系調査や出前環境学習を通して、地域の自然を守るために自分たちができることを考え、生活に生かす。	4年
7	橋小	自助、共助を意識しながら学校と家庭、地域がつながり、防災への意識を高め、みんなが安心して生活できるまちづくりのために、私たちはどうすればよいのだろう。	発達段階に応じて系統的に防災に関する知識や技能を高め、自助から共助への意識を持ち、安全・安心な社会づくりに参加・貢献できる力を身に付ける。	全校
8	禎瑞小	地域の誇りである干潟を守り続けるために、私たちはどうすればよいのだろう。	社会科の「住みよいくらしをつくる」のごみや水の学習を通して、環境問題に興味・関心を持ち、地域の干潟を守るために自分たちができることを考え、実践する。	4年
9	氷見小	いっしょにつくろう！笑顔の氷見プロジェクト～つながる やりぬく 明日をつくる～	地域の人や文化と関わりながら活動することにより、ふるさとの良さやすばらしさを感じることができる	全校
10	小松小	「持続可能なまち西条」の実現のために、私たちはどうすればよいのだろう	総合的な学習の授業などを通して、自分を含め大切な命を守るために、自分たちができることを考え、実践する。	6年
11	石根小	学校では、電気や水、食料などが、家庭よりもずっと多く使われている。資源や環境を大切にするために、私たちはできることは何だろう。	課題意識をもって、学校で使われている電気や水、食料などについて調べ、自分たちができる具体的な解決方法を提案し、実践に移す。	6年
12	壬生川小	わたしたち消費者は、みんなが安心して住み続けられるまちづくりや環境保全のために何ができるだろう。	エコプランターで植物を育てることを通して、みんなの住みやすいまちづくりや環境保全のために、自分たちができることに気づき、考え、実践する。	5年
13	周布小	平和な世界にするために、私たちにはどんなことができるだろう。	平和学習を通して、平和の尊さについて学び、自分にできることを発信しよう。	6年
14	吉井小	大地震が起きた時、吉井に暮らす人たちが安全に避難したり支え合ったりして災害に強い町にするために私たちはどうすればよいだろう。	南海トラフ地震に備え、地震が起きたときに1人でも多くの命を救うためにできることを考え、実践する。	6年
15	多賀小	南海トラフ大地震や豪雨による浸水被害が懸念される多賀小学校区において、「死ぬな、逃げろ、助けろ」を実践し、自分や地域の人々の命を守るために、私たちにはどんなことができるだろう。	災害を自分事として捉えるとともに、命を守るための具体的な防災対策について個々の課題を設定し、学んだことを地域に発信する。	6年
16	国安小	様々な人々が共生する社会において、誰もがより自分らしく、そして、安心して過ごせる社会にしていけるために、自分たちにはどんなことができるだろう。	修学旅行等で実際に見学したり、調べたりしたことを生かして、誰もが安心して過ごせる平和な社会の実現に向けて、自分たちが身近でできることをグループで提案し、実践していく。	6年
17	吉岡小	わたしたちの健康と生活環境を支え、守るために、地域社会ではどのような取組があり、自分たちはどんなことができるだろう。	安心で安全な地域にするために自分たちにできることを考え、家庭や地域に発信する。	4年
18	三芳小	近年起こると予想される南海トラフ大地震に対して、被害を最小限に抑え、家族や地域の人達と共に生き抜くために、自分たちには何ができるだろう	災害に備えて、自分たちにできることを考え実践する。また、学習したことを家庭や地域に広げていくことで、地域の防災に貢献する。	6年
19	楠河小	楠河地区の河原津海岸に生息する絶滅危惧種のカブトガニについて生態や住みやすい環境を調べたり、飼育したりする活動を通して自然環境を守る意欲を高める。	楠河地区の河原津海岸に生息する絶滅危惧種のカブトガニについて、生態や住みやすい環境を調べたり、飼育したりする活動を通して、自然環境を守る意欲を高める。	5年
20	庄内小	地域とともに、環境に優しい町づくりのために、私たちはどうすればよいのだろう。	環境問題について課題を見付け、環境に優しい生活を送るために、自分たちができることを考え、実践し、発信する。	6年
21	丹原小	わたしたちのふるさとが、これからもずっと住みやすい街になるように、わたしたちは、ごみ問題にどう取り組んでいけばいいだろう。	ごみの処理が人々の健康な生活や生活環境の維持と向上に役立っていることを理解し、ごみを減らすために具体的に行動できることを考え、実践する。	4年
22	徳田小	ふるさとを愛し、未来へ続く まちづくりのために	身の回りで、みんなが過ごしやすくなるための工夫を探したり調べたりして報告文にまとめるとともに、自分たちにもできることを話し合う。	5年
23	田滝小	主体的に学び、自分の考えを表現する児童の育成ー複式・小規模校の特性を生かしてー	地域に伝わる文化に触れ、豊かな自然に親しむことを通して、郷土を愛し、心豊かな田滝っ子を育成する。	全校
24	田野小	わたしたちのふるさとと田野・西条がみんなから愛される街として継続・発展していくために、私たちはどうすればよいのだろう。	自分たちのふるさとの魅力について、実際に見たり調べたりする中で、みんながこれからも住みやすい街として継続発展させるために、自分たちができることを考え、実践する。	3年
25	中川小	中川の未来を考えよう～安心・安全に暮らせる地域づくり～	防災意識を高めるために、過去の災害事例や体験的な活動を通して学んだことを基に、中川のみんなが安全・安心な暮らしができるよう、自分が考えたことをポスターにまとめ、発表や掲示をし、自らも持続的に行動していく。	6年
26	西条東中	身の回りに潜む危険や、起こり得る自然災害等に対して、私たちは何を準備し、どのような対策をすれば、すべての人々が安全に暮らせるまちになるのだろう。	身の回りに潜む危険や自然災害について、体験学習や調べ学習、タブレットを活用した発表を通して、インクルーシブ防災をめざしたまちづくりのために、自分たちができることを考え、実践する。	1年
27	西条西中	持続可能な人権学習と差別解消への取組	様々な活動を通して、互いの存在を認め合い命を尊重し合いながら、心穏やかに暮らせる街づくりをするために、自分たちができることは何か考え実践する。	1年
28	西条南中	障がい者や高齢者をはじめとする地域に暮らす人々の日常生活の課題に気づき、福祉の実現に向けて実践力を育む。	疑似体験等を通して福祉に関する知識と理解を深め、福祉の実現に向けて実践力を育む。	1年
29	西条北中	自分と地域のつながりを考えよう。	地域の自然環境を調べ、その良さや課題を知り、環境問題と自分たちの生活とのつながりを具体的に考える。	1年
30	小松中	地域に住むすべての人が住みやすい街にするために私たちは何を学び、どうすればよいだろう。	「福祉」とは何か、を学び、障がいを持つ人が何に困っているかを知ったり、高齢者になると体にどのような変化が起きてくるのかを知ったりする中で、誰もが住みやすい街づくりのために自分にできることを考えさせる。	2年
31	東予西中	差別や偏見をなくし、誰もが過ごしやすい社会をつくるために、私たちはどうすればよいのだろう。	地域の医療従事者に感謝の気持ちを伝える活動を通して、新型コロナウイルス感染者やその家族に対する「差別」や「偏見」をなくし、あらゆる差別を解消しようとする態度を育てる。	全校
32	河北中	SDG s の視点に立った防災学習	自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、問題を解決することを通して、学び方を身に付ける。また、地域における体験を通して、探究活動に主体的に取り組む。	1年
33	東予東中	誰もが住みやすい街づくりのために、自分たちができることは何だろう。	福祉やボランティアに関心を持ち、自分との関わりについて考える。福祉に関する基礎・基本的な知識や技能を体験的に学習する。	3年
34	丹原東中	豊かな心を育む教育文化のまちづくりを実現するために学校が地域とともにできることを実践していく。	自分たちが学習した人権教育を地域の方々に伝えることにより、豊かな心を育む町づくりを実現する。	2年
35	丹原西中	「知・徳・体の調和のとれた丹原西中生」を目指し、「ROC Reserch Our Country ふるさと再発見」を通して、地域の人々と交流することで地域を知り、地域の課題を見付け課題解決を図るとともに、自己の生き方を考え地元丹原の将来像を描く。	探究的な活動に主体的に取り組み、ふるさとを再発見する中で、課題を見付け仲間と協力しながら課題解決を図り、地域での様々な体験活動と人々との交流を通して、社会の一員としての自己の生き方を考え、自分の将来像を描き地域に貢献する。	全校